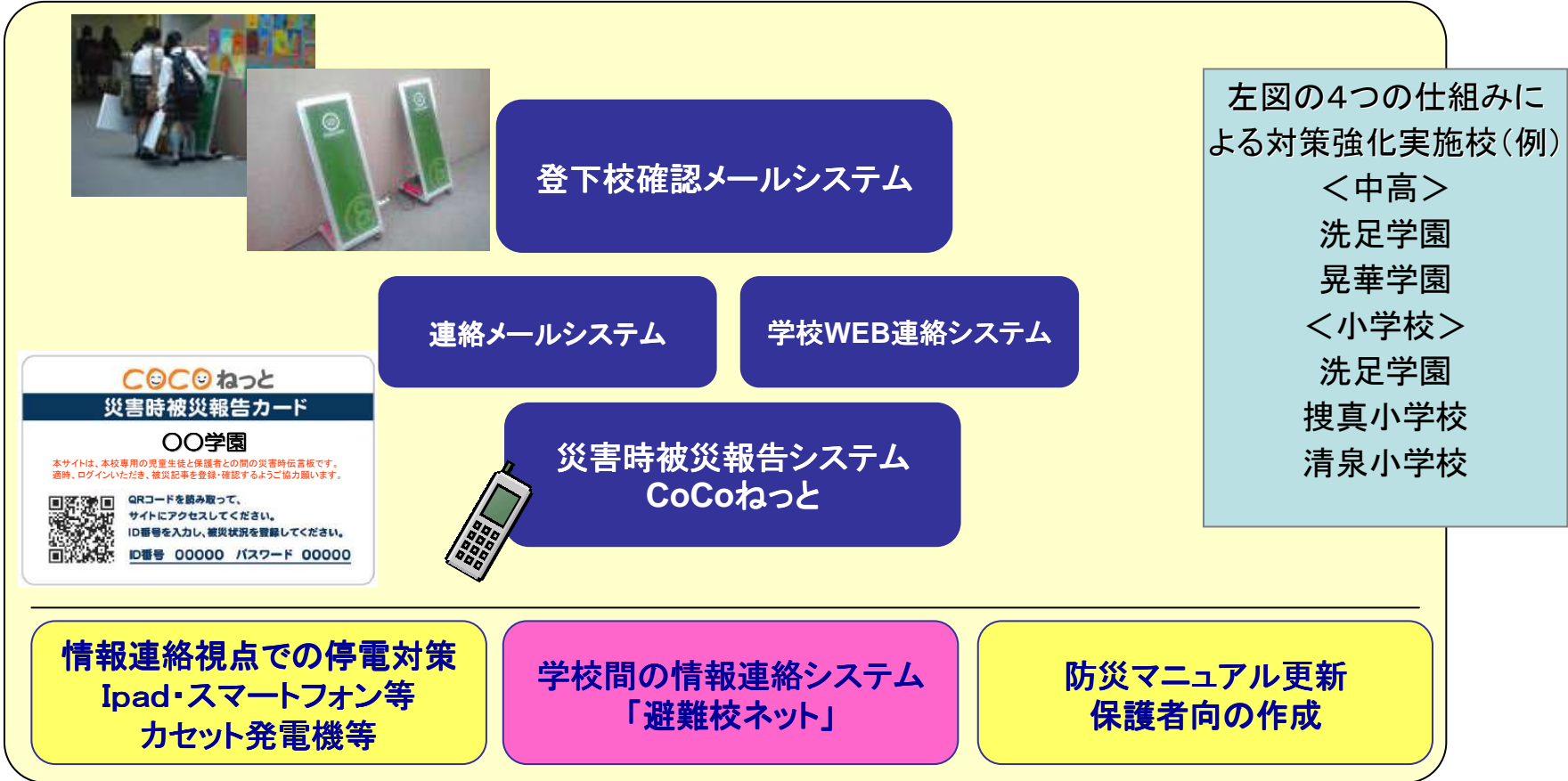


NPO法人ロイズ 学校安全対策強化について
防災担当様

「避難校ネット」の展開を契機に、防災体制の見直し・強化をご検討ください

2013年10月より、東京私立中学高等学校協会の主導で、東京都内の中学高等学校では、災害時の相互協力:他校の帰宅困難な避難生徒受け入れ協力を具体的に始めます。
また、他の首都圏の私立小学校中学高等学校でも、本システムに順次参加していく予定です。
これを契機に、私立校様には、防災体制の強化を検討いただきたいと思います。



ロイズの安全対策導入校が地震発生時にどう対応できるか シミュレーション

1. 地震発生

2. 交通機関がストップ

(震度5以上)

3. 通信網が制限

携帯3社、NTTとも、90%制限、

PHS70%制限

家の電話も、携帯電話もほとんど
通じない

メールも携帯各社のサーバで

積み残しが発生し遅滞する

4. 広域での停電発生、

学校も停電

※携帯電話の基地局が停電後

3時間でバッテリー切れとなる

※大部分の保護者宅の家の電話は、

電気がないと通じなくなる

※学校の電話回線、インターネット

回線が通じなくなる

「公衆電話」など一部のみ通話の

可能性あり

登下校確認メール

学校にいるのか、学校外かがわかる。
その場合何時に学校を出たのかで、
どの辺で電車等を降ろされたのか推測

一斉連絡メール

登下校確認システムで学校にいる生徒
がわかるので、遅滞なく保護者宛に、
生徒の保護情報をメールできる

学校WEB連絡システム

一斉連絡メールが遅延不通となっても
携帯でも閲覧可能なWEBサイト上で
学校と保護者が双方向の連絡が出来る

CoCoねっとシステム

こどもが避難所に保護された場合など
インターネット回線に接続できる機器を
通じて、安否情報を登録、直接保護者が
閲覧できるので、どこにいるのかがわかる

自家発電装置と
モバイル端末

停電時でも、インターネットに接続できる
体制を確保することで、学校と保護者、
生徒との連絡が可能となる

小学校・中学校・高等学校問わず、「登下校確認メール」「一斉連絡メール」
「学校WEB連絡システム」「災害時被災報告CoCoねっとシステム」を
備えることで、インターネット回線を利用できれば、学校と保護者、生徒児童
との連絡が取り合える可能性が高くなると思われます。

登下校確認メール配信を採用する学校が増えている理由

1. 防災対策を強化し、保護者の安心度合いを高めるため

※3/11を経験し、携帯電話やメールが地震発生後には使えないことへの対応として導入

※保護者に登校メールが届いていれば、学校に着いていることがわかり安心できる

※保護者に下校メールが届いていなければ、学校の中にいることがわかり安心できる

※登校メールが届いていない、下校メールが届いている場合は、学校外(通学途上、下校途上)であることが学校に問い合わせるまでもなくわかる。

2. 放課後の地震発生時に、瞬時に在校生徒を把握できる

※地震発生後に、保護者宛生徒の安否情報を遅滞なくできる

※メールが保護者についているので、保護者連絡をあせる必要がない

3. 登校・在校情報を瞬時にチェックでき、出席を改めてとる必要がなくなる

※担任が教室に向かう前に誰が欠席かがわかる

※事務室では一括して出欠が把握できる

※放課後や休日のクラブ活動で、保護者から学校にいるのか、問い合わせがなくなる

4. 登録メールアドレスの完全性を確保するため

※連絡メールのメールアドレスは、保護者の意識が低いと「機種変更」「アドレス変更」「迷惑メールサービス」などによって、正しく着信できない(学校は送信しても受信できない保護者が発生する

※登下校メールは、毎日配信されるため、保護者の意識が高く、変更などを逐次反映することができ、学校側でも、未着をもとに保護者に登録変更などを促し、正しいアドレス管理がたやすい

災害時被災報告システム「CoCoねっと」を採用する必要性

1. 防災対策を強化し、保護者の安心度合いを高めるため

※3/11を経験し、携帯電話やメールが地震発生後には使えないことへの対応として導入

※学校外で災害にあった場合、駅等で交通機関がストップするため周辺の①私立学校に避難(「避難校ネット」で自校に連絡)②インターネットに接続できる端末から保護者と「CoCoねっと」で居場所(避難所)など相互連絡が取れる

※学校の管理サイトにも、児童生徒がどこに避難しているかが登録される

2. 放課後の地震発生時に、携帯の通話やメールはほとんど使えない

※インターネットのページに直接書き込むので、地震発生後でも、保護者宛に自分の安否情報を遅滞なく登録できる

※GPS機能端末・電話は、メールでのやり取りのため遅延が発生する可能性が高く、保護者まで生徒児童の位置情報が伝わらない。

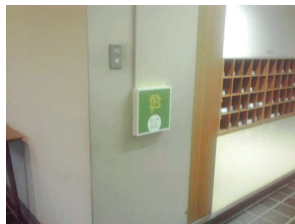
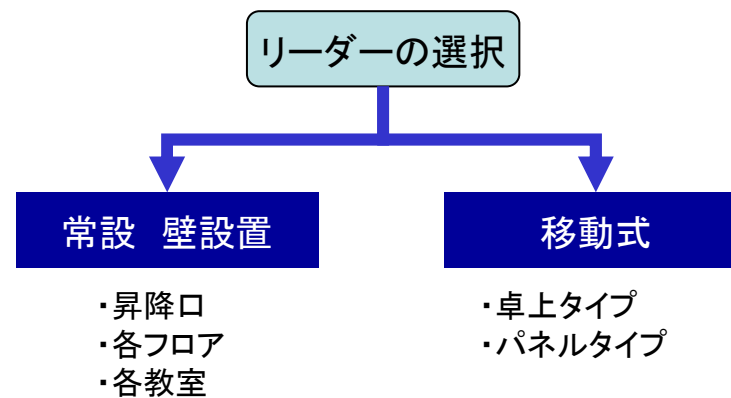
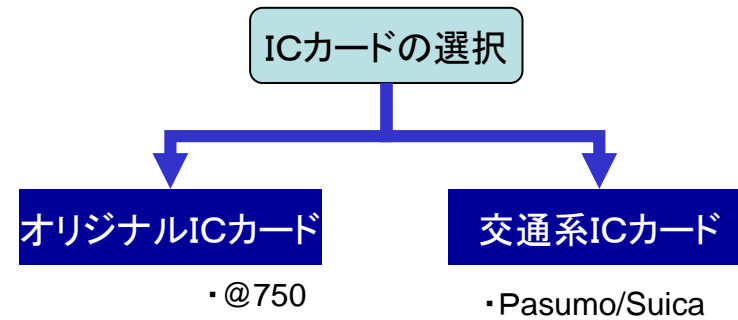
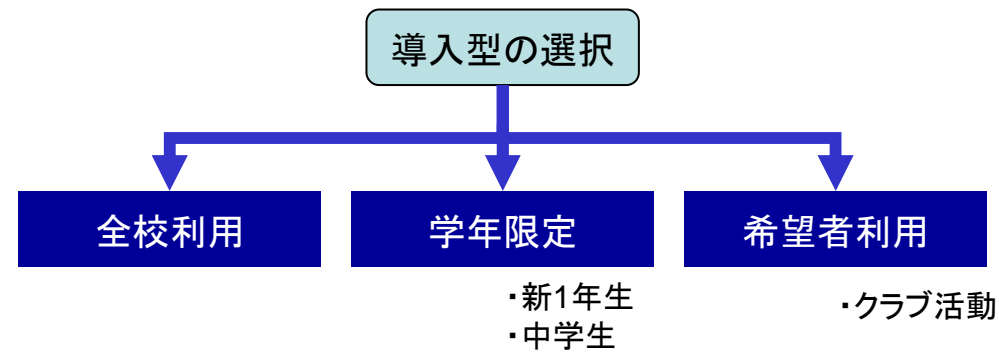
3. インターネット回線が使える端末があれば、保護者に安否を伝えられる

※生徒児童が携帯を持っていなくても、避難所のパソコンや周りの大人の携帯電話からサイトに安否情報を登録できるので、保護者と連絡が取れる可能性が高い

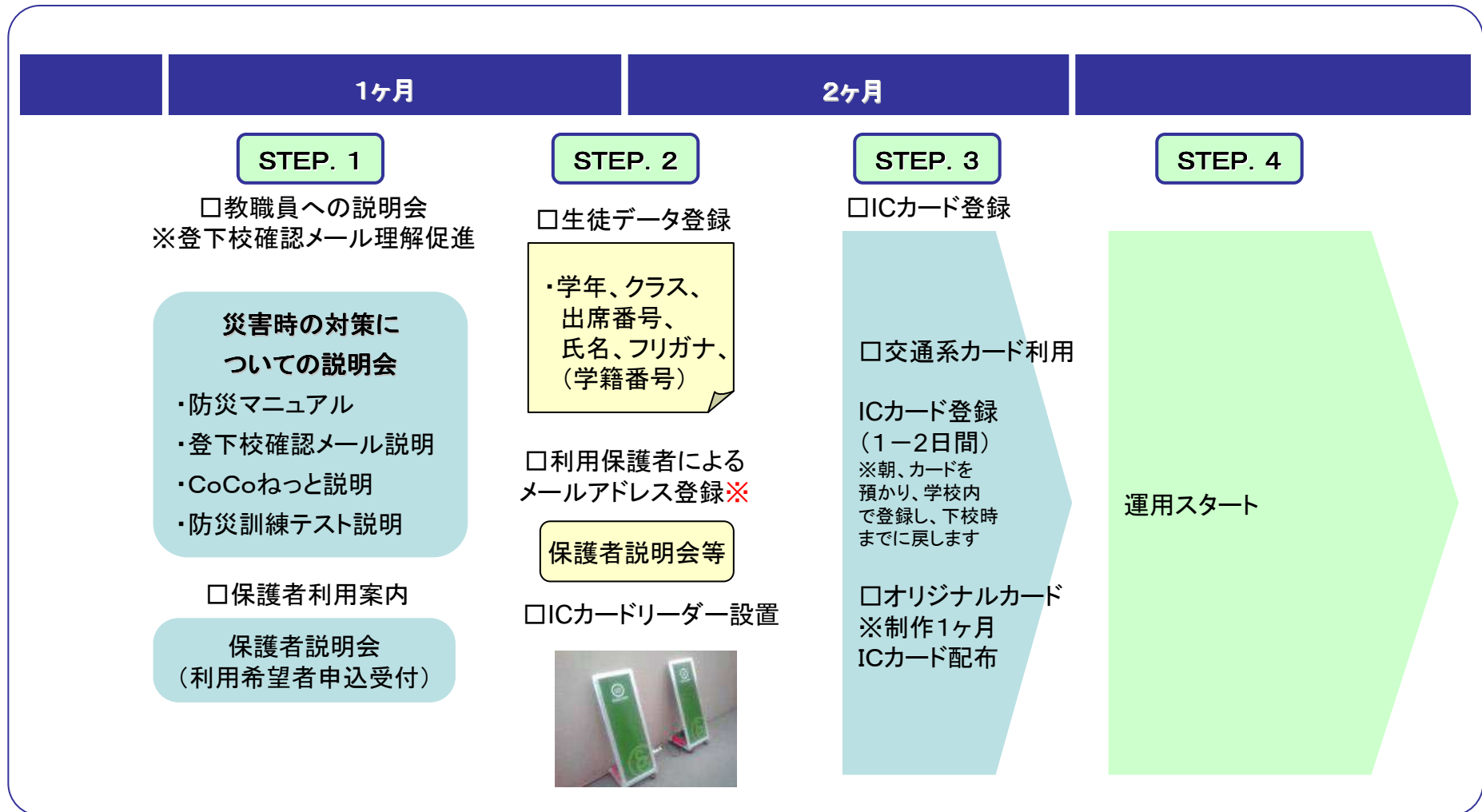
※携帯電話禁止校こそ、災害時に「CoCoねっと」カードを持たせることで、携帯電話を持つ必要なく、保護者と連絡を取り合える手段を確保できる

4. 学校側でも、学校外にいる生徒の安否が確認できる

登下校確認メール配信システム 導入手順(1)



登下校確認メール配信システム 導入手順(2)

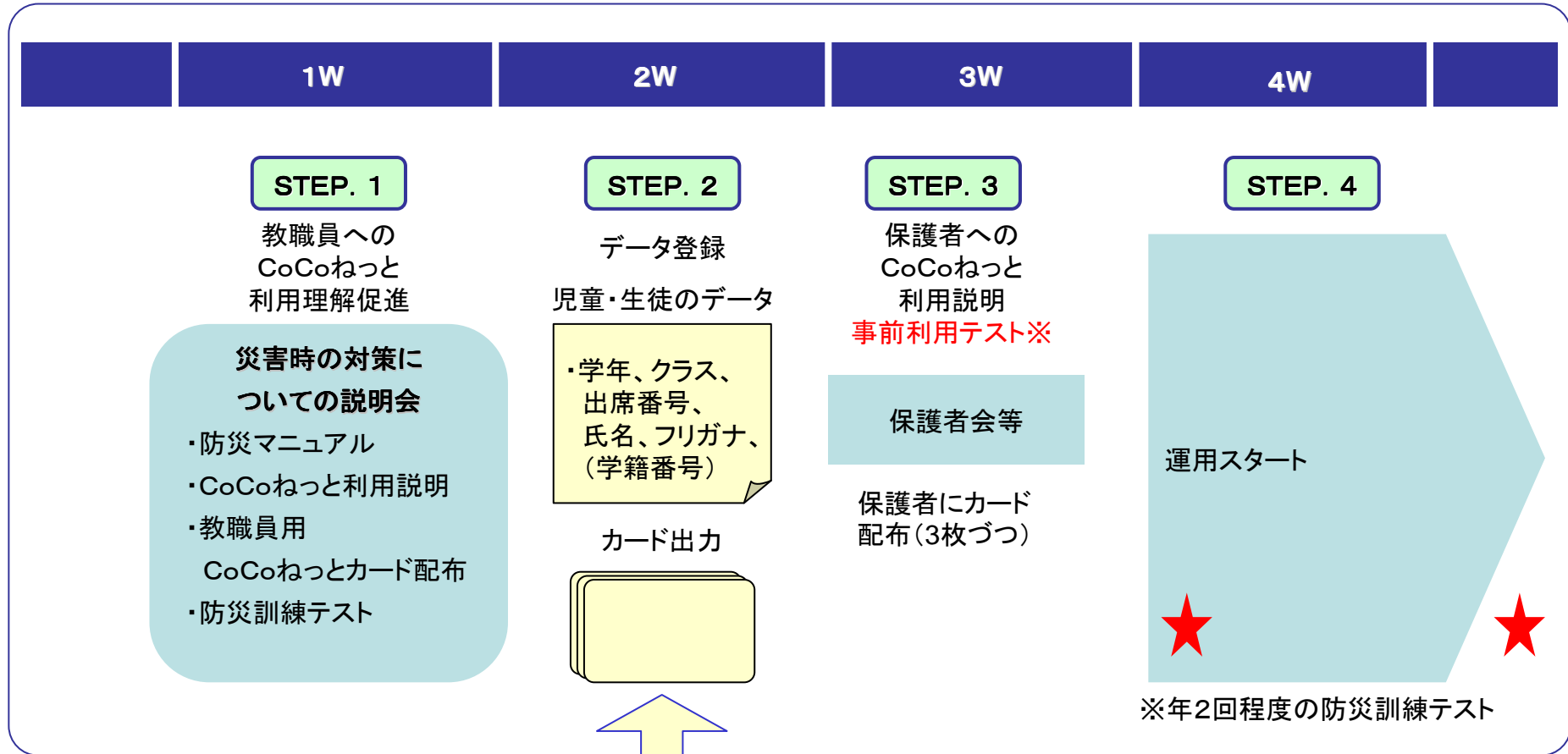


移動式

- ※生徒・児童数で台数を設定(基本は250名につき1台)
- ※学校のLANに接続 ※362×984mmパネル
- ※電源のみ供給元を確保ねがいます

- ※最近の傾向として、携帯会社のフィルタリングサービスの強化によるメール着信できない場合があります。その場合、着信許可設定をしておく必要があります。

災害時被災報告システム 「CoCoねっと」 導入手順



カードタイプ

- ①紙(無料)
- ②PETカード(@100円)

※最近の傾向として、携帯会社のフィルタリングサービスの強化によりアクセスできない場合があります。その場合、アクセス許可設定をしておく必要があります。